

ウェザーニューズとNTT東日本 「災害時における相互連携に関する協定」を締結

株式会社ウェザーニューズ（本社：千葉市美浜区、代表取締役社長：草開 千仁、以下ウェザーニューズ）と、東日本電信電話株式会社（代表取締役社長：井上 福造、以下NTT東日本）は、近年の気象災害の激甚化を受け、災害の早期復旧を目的として、本日「災害時における相互連携に関する協定」を締結しました。

本協定の締結により、両社は災害時における通信インフラの迅速な復旧に向けて連携し、地域の企業や人々の暮らしを守るライフラインとして社会に貢献していきます。

具体的には、平時においては災害等の発生に備えて連携体制を整備し、災害等発生の際の迅速な初動対応につなげるとともに、NTT東日本の敷地に浸水を検知するウェザーニューズのIoTセンサーを設置します。災害等発生時にはIoTセンサーの情報により、従来では現地へ到着するまで確認できなかった通信設備やその周辺地域の浸水状況を、迅速かつ一元的に把握することが可能になります。

将来的には、過去の被災状況や観測データなどを組み合わせて被害を予測するなど、災害の早期復旧につながる新たなサービスの創出に向けて取り組んでいきます。

<主な連携事項>

- (1) 平時における両社の活動に対する相互理解促進
- (2) 連携体制構築による災害等発生時における迅速な初動対応環境の整備
- (3) 両社が保有する施設・情報等の相互利用
 - ・NTT東日本が保有する敷地等にウェザーニューズの観測機器を設置し、被害状況を一元的に把握する。
 - ・過去災害の被災状況等から、発生が予測される災害での被害予測や収集すべき情報の検討、検証を実施する。
 - ・災害等発生時には、観測した実績データを収集し検証を行う。
 - ・早期復旧の一助に繋がる新たなサービスの創出を検討する。

参考資料：ウェザーニューズとNTT東日本の相互連携（イメージ）

NTT東日本
防災業務計画

被災地域への貢献

ウェザーニューズ
経営理念



基本協定 目的、連携体制などの大枠を規定

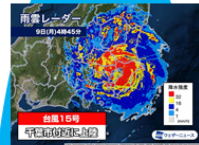


<平時>

- 双方の活動に対する理解促進
- 連絡窓口の設定
- 浸水センサ設置の推進
- 早期復旧に向けた新たなサービス創出 など

<災害等発生時（発生の恐れを含む）>

- 災害等発生に伴う被災予測
- 観測データ収集
- 通信サービス被害状況の共有 など



※ NTT東日本は円滑かつ適切な災害対策の遂行に資することを目的として防災業務計画を掲げており、ウェザーニューズは「いざという時、人の役に立ちたい」という原点の想いを胸に運営をしています。両社は相互に連携し、被災地域への貢献につなげていきます。